

酪 農 試

酪農研究通信

第29号 2021年3月



土壤凍結地帯におけるペレニアルライグラスの追播試験



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
農業研究本部 酪農試験場

北海道標津郡中標津町旭ヶ丘7番地
TEL(0153)72-2004 FAX(0153)73-5329

酪農試験場において、令和2年度にとりまとめた研究成果の要約を掲載しました。酪農の生産・普及・行政の現場でご利用下さい。

なお、例年行っております酪農試公開デー、酪農試験場フォーラムは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としましたので申し添えます。

第29号 目 次

令和2年度の研究成果

1. 泥炭草地の更新で除草剤を使える条件 1
(泥炭土における NC-622 液剤の播種床処理が牧草に葉害を発生させる条件の解明)
2. 土壤凍結地帯の放牧地でペレニアルライグラスを追播利用 3
(北海道東部の土壤凍結地帯におけるペレニアルライグラスの導入実態および効果の検証)
3. チモシー1 番草の出穂を予測する 5
(チモシー1 番草出穂期予測システムの改良)
4. 自動給餌機導入で酪農経営のゆとりと所得アップ 7
(繋ぎ飼養経営における家族労働力減少対策の解明)
5. 乳牛ふん尿を「ほぼ無臭」にする新たな曝気処理技術と堆肥化資材 9
(乳牛ふん尿の悪臭低減のためのスラリー及び堆肥の低コスト処理技術の開発)

詳しい情報や内容に関するお問い合わせは、各担当者にお寄せ下さい。この資料中の成果名は要約版です。お問い合わせ・検索にはカッコ書きした(課題名)をご利用下さい。これまでの研究成果については、インターネットで情報を提供しています。併せてご利用下さい。

◆酪農試験場 (<http://www.agri.hro.or.jp/konsen/konsen1.html>) から「研究成果」を選択

◆農業技術情報広場 (<http://www.hro.or.jp/list/agricultural/center/index.html>) から「研究成果」を選択